



## プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。  
今回は、シンポジウム「VISION2050 - 事故を振り返り未来を見据える」開催のお知らせです。

### 日本原子力学会シンポジウム開催のご案内 『VISION2050 - 事故を振り返り未来を見据える』 - 東京電力福島第一原子力発電所事故から10年を迎えて -

東京電力福島第一原子力発電所事故（以下、1F事故）を防ぎ得なかったことは、原子力に係わるすべての研究者、技術者、組織が真摯に受け止めるべきものであり、本会は長期にわたり福島環境修復や事故プラントの廃止措置などに真剣に向き合っていく決意を学会内外に表明しています。事故以降、「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会」（学会事故調）を設置し、本会の総力を結集して、原子力の専門家で構成される学術的な組織の責務として1F事故とそれに伴う原子力災害の実態を専門的視点から分析し、背景と根本原因を明確にして課題をまとめ、原子力安全の確保と継続的な安全性向上の方策及び基本となる安全の考え方について提言しました。また、今後長期にわたり取り組まれる廃炉への学術的提言の発信に取り組んできました。さらに、福島復興・再生支援では、事故直後から住民の方々に寄り添った活動を行うとともに提言も行ってきました。

事故から10年目の節目を迎える本年、これら取り組みの総括と今後の長期展望をテーマとしたシンポジウムを開催することといたしました。シンポジウムは、学会事故調の提言に対する学会としての総括、廃炉及び周辺地域の復興・再生支援の取り組み状況と今後について、報告・議論いたします。

日時：2021年3月11日(木) 13:00～18:00 会場：オンライン開催

主催：一般社団法人日本原子力学会 参加費：無料

プログラム：

開会挨拶：中島 健会長 司会：藤澤 義隆副会長

学会事故調提言フォローの報告

- (1) 提言フォローWGの活動と報告書作成の経緯：越塚 誠一（東京大学）
- (2) 提言I 原子力安全の基本的な事項：成宮 祥介（原子力安全推進協会）
- (3) 提言II 直接要因に関する事項：高田 孝（日本原子力研究開発機構）
- (4) 提言III 背後要因のうち組織的なものに関する事項：山本 章夫（名古屋大学）
- (5) 提言IV 共通的な事項：笠原 直人（東京大学）
- (6) 提言V 今後の復興に関する事項：田中 隆則（原子力環境整備促進・資金管理センター）
- (7) 総括：関村 直人（東京大学）

- 黙とう -

質疑応答

廃炉検討委員会の報告

- (1) 廃炉の10年と廃炉委の役割：宮野 廣委員長
- (2) 学術の視点からの1F廃炉の課題と対応：岡本 孝司副委員長

福島特別プロジェクトの報告

- (1) 福島の現状および福島特別プロジェクトの活動と今後について：藤田 玲子代表
- (2) 除染・帰還・復興に関する見解（2016）に対する現状について：三倉 通孝副代表

総合討論

パネリスト

- ・小林 傳司（大阪大学COデザインセンター特任教授）
- ・野口 和彦（横浜国立大学IASリスク共生社会創造センター客員教授）
- ・向殿 政男（明治大学名誉教授）
- ・小沢 晴司（宮城大学教授、前福島環境再生本部長）
- ・竹内 純子（NPO法人国際環境経済研究所理事/東北大学特任教授）

閉会挨拶：山口 彰副会長

本件に関する取材等お問合せ先：日本原子力学会事務局  
TEL: 03-3508-1261 / E-mail: kikaku@aesj.or.jp